

毎週日曜発行
2024 11/24

こども新聞

週刊かほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



2015年、仙台市で国連防災世界会議が開かれ、災害から世界を守るために今後15年間で取り組む防災指針を決めました。この指針は「仙台防災枠組」と呼ばれています。

私たちの地域には豊かな自然があり、恵みをもたらす一方で、地震や津波、洪水、土砂災害も起こります。こうした命や健康、暮らしを脅かす自

きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

20

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

仙台防災枠組の内容

- 七つの目標**
- ①災害による死者数を大幅に減らす
 - ②被災者数を大幅に減らす
 - ③災害による直接的な経済損失を減らす
 - ④医療や教育のインフラ被害を大幅に減らす
 - ⑤防災・減災戦略を持つ国の数を増やす
 - ⑥途上国の防災枠組実施への国際協力を強化する
 - ⑦多くの人が複合災害に対応した早期警戒システムや災害リスク情報を利用できるようにする

- 四つの優先行動**
- ①災害リスクを理解する
 - ②災害リスクの管理を強化する
 - ③防災への投資を進め、レジリエンス(回復力)を高める
 - ④災害に十分に備え、「ビルド・バック・ベター(より良い復興)」を実現する

地域の災害リスクを理解し伝えよう



リスク減らし被害を防ぐ

仙台防災枠組のゴール

自然現象や環境汚染などをハザードと言います。社会がハザードに直面することによる被害の受けやすさをリスクと言います。自然現象であるハザードを完全に防ぐことはできませんが、被害を減らすことはできます。この災害リスクの軽減のために仙台防災枠組が作られました。

は、災害リスクを減らし、将来の被害を小さくすること。災害が起きてからの対処ではなく、リスクをコントロールする考え方や、世界が目指す明確な七つの目標が記されています(イラスト)。

目標達成のために、日常生活で何を変えれば良いかを考え、災害リスクを減らして備える。こうすることで、私たちは

災害が起きてもすぐに立ち直る力(レジリエンス)を持つことができます。仙台防災枠組は四つの優先して取り組む行動があり、その一つに「災害リスクを理解する」があります(イラスト)。私たちが暮らす地域の人や社会の特性、災害に対して弱い部分を理解し、リスクを見極めることで災害を防ぎ、自分や周りの命を守ることが大切です。

子どもである皆さんは、身の回りのハザードやリスク、どんな災害の可能性があるかを周りの大人に伝え、家族や学校、地域をより安全な場所にする力を持っています。まずはハザードマップを見て、危険な場所と安全な場所を知り、自分が生まれる前にどんな災害が起こったか、どんな教訓が残されたかを調べることから始めてみましょう。(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

今週の注目ニュース

◇29日(金) プッチーニ没後100年
イタリアのオペラ作曲家ジャコモ・プッチーニ(1858~1924年)の命日。2006年のイタリア・トリノ五輪で荒川静香さんがプッチーニ作曲の「トゥーランドット」の音楽を使って滑り、金メダルを獲得しました。

かほの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者レポート